

報道関係各位

石油資源開発株式会社
コーポレートコミュニケーション室
(Tel: 03-6268-7110)

当社相馬 LNG 基地の福島ガス発電(株)福島天然ガス発電所向け発電燃料供給の再開 ならびに同発電所の運転再開について

2021年2月13日(土)に発生した福島県沖を震源とする地震にともない操業を一時停止していた当社の相馬 LNG 基地(福島県相馬郡新地町)において、当基地に隣接する福島ガス発電株式会社(FGP)の福島天然ガス発電所(以下「FGP 発電所」)への発電燃料の供給を本日再開しましたので、お知らせいたします。

また、相馬 LNG 基地からの発電燃料の供給再開にあわせ、FGP 発電所についても本日運転を再開しました。

当社相馬 LNG 基地ならびに FGP 発電所の、地震発生以降の経緯や最新状況は、以下を参照ください。

1. 当社相馬 LNG 基地：2月19日(金) FGP 発電所向け発電燃料供給を再開

地震発生にともなう安全確認のため操業を一時停止後、点検や復旧対応、試運転により安全を確認できた設備から順次操業を再開しています。2月16日(火)には、当社ガスパイプライン網への液化天然ガス(LNG)を気化したガスの送付と、ローリーでの LNG 出荷を再開しました。

また、FGP 発電所への発電燃料である LNG 気化ガスの供給に係る操業については、当基地の発電所向けの送付設備の安全性の確認などを経て、FGP 発電所への発電燃料の供給を本日再開しました。

2. 福島ガス発電株式会社(FGP) 福島天然ガス発電所：2月19日(金) 1号機、2号機ともに運転再開

地震発生にともなう発電設備の自動停止後に実施した FGP による確認・点検の結果、FGP 発電所において運転に支障のある設備の損傷などはありませんでした。

また、当社相馬 LNG 基地から FGP 発電所への発電燃料の供給再開にともない、FGP 発電所は、発電設備の運転を 1号機、2号機ともに本日再開しました。

当社は今後も、安全を最優先に、当社相馬 LNG 基地の操業に取り組むとともに、FGP 発電所の安定運転へ貢献してまいります。

以上

(関連資料)

- ・2021年2月16日当社プレスリリース「[当社相馬 LNG 基地の一部操業の再開について \(ガスパイプライン向け LNG 気化ガス供給およびローリーによる LNG 出荷の再開\)](#)」
- ・2021年2月14日付当社プレスリリース「[福島県沖を震源とする地震による当社の被害・対応状況について \(2021年2月14日\(日\)14時30分現在\)](#)」

(参考)

当社相馬 LNG 基地 概要

名 称	相馬 LNG 基地 (石油資源開発(株) 相馬事業所)
所 在 地	福島県相馬郡新地町駒ヶ嶺字今神 159-2 (相馬港 4 号埠頭)
敷地面積	約 20ha
受入設備	LNG 外航船バース : 1 式 (12.5 万 m ³ ~21 万 m ³ 級) LNG 内航船バース : 1 式 (2,500m ³ 級) ※LNG 内航船出荷と兼用
貯蔵設備	LNG タンク : 地上式 PC*型 23 万 kL×2 基 LPG タンク : 球形 1,000t×2 基
気化設備	送出能力 : 7.0MPa、75t/h×4 基 ※うち 2 基はバックアップ
出荷設備	LNG 内航船出荷 : 最大 4,800m ³ 級 LNG ローリー出荷 : 30t/h×5 レーン

注) *プレストレスト・コンクリート (Prestressed Concrete) : あらかじめ応力を与えたコンクリート材。引張応力の制御により、ひび割れを防ぐ特性を持つ。

福島ガス発電(株)福島天然ガス発電所 概要

名 称	福島天然ガス発電所
所 在 地	福島県相馬郡新地町駒ヶ嶺字今神 161-3 (相馬港 4 号埠頭)
敷地面積	約 10ha
発電方式	ガスタービンおよび汽力 (ガスタービン・コンバインドサイクル (GTCC) 方式)
出 力	118 万 kW (59 万 kW×2 基)
燃 料	天然ガス (液化天然ガス : LNG を気化) ※発電燃料 LNG の保管と気化・送業務は、本発電所に隣接する JAPEX 相馬 LNG 基地へ委託
熱 効 率	発電端効率 約 61% (低位発熱量基準)
運営主体	福島ガス発電株式会社 (略称 : FGP) ※石油資源開発(株)、三井物産(株)、大阪ガス(株)、三菱ガス化学(株)、北海道電力(株)の 5 社が株主の特別目的会社 ※FGP の概要は同社ウェブサイト (http://www.f-gp.co.jp/) を参照

###